

令和 8 年 9 月 1 1 日（金）

第 3 回定例会一般質問

（要旨及び質問順位）

新 冠 町 議 会

第3回定例会一般質問

- 1 武藤 勝罔 議員
熊本地震から何を学ぶべきか
- 2 武藤 勝罔 議員
「新冠町財政推計」について
- 3 長浜 謙太郎 議員
行財政改革下における予算編成と財源確保について
- 4 酒井 益幸 議員
住宅施策の推進について
- 5 但野 裕之 議員
森林公園のクマ出没対応について
- 6 但野 裕之 議員
レ・コード館開館30周年記念事業について

第3回定例会一般質問要旨

NO. 1

順位	質問議員名	発 言 要 旨	答 弁 を 求 る 者
1	武藤 勝罔	熊本地震から何を学ぶべきか	町 長
		熊本で再び地震が起き、大きな被害が出ています。私が強く感じているのは、日本の避難所は、少なくとも阪神淡路大震災、東日本大震災、能登地震、熊本地震、以降避難所の風景が全く変わっていないということです。 世界的に大震災が起きていますが、イタリアでの震災、台湾での震災を映像等で見ましたが、スフィア基準に基づく素早い対応に驚くばかりです。何故、日本で出来ないのか不思議に感じられます。 大震災への備えは「平時から」を強く感じます。この地震から何を学ぶべきか、避難者の多くが「雑魚寝はもう限界」「段ボールベッドを早く」と切実な訴えをしています。避難所の改善については、いろいろな角度からの検証は必要ですが、今回は段ボールベッドに絞って質問します。 ①現在、町が保有している段ボールベッドの数はいくらかですか。新冠の避難予定数からみて、あと必要な数はいくらかですか。 ②残念ながら、現在の各自治体の予算等の関係から、自前で用意するのは困難かと思えます。国でまとめて備えるべきと思いますが、知事会・町村会等を通じて国に強く要望を上げていくべきではないでしょうか。 ③この秋に「防災庁」が設立されますが、具体的な点についての詳細は、町に文書がおりてきていますか。 以上、伺います。	
2	武藤 勝罔	「新冠町財政推計」について	町 長
		全家庭に配付された、令和8年度新冠町財政推計（概要版）により、町の財政見通しが非常に厳しい状況であることを公表されました。このことに関連して次の3点について伺います。 ①今後の取組の「歳出予算の削減」から伺います。 既存事業の内容を精査し、事業の縮小や廃止を含めて検討します、とありますが、各事業とも利用者や利害関係者が居る中で、どのような手順を踏んで進めようとしているのか伺います。 ②「歳入予算の確保」から、ふるさと納税について伺います。 この点については、昨年6月定例会でも質問し、基本的な考えは伺いましたが、2025年度町への寄付額は2億5100万円（前年度比35.1%減）に減少となっていますが、この要因はどう判断されますか。 また、今年の会計検査院の指摘で、ふるさと納税の利用拡大で財政計画への影響が大きくなる可能性があるとして、総務省に検証を求めています。持続的な町の発展につながるのか、この現状をどう捉えるべきか見解を伺います。 ③「歳入予算の確保」から受益者負担の原則について伺います。 受益者負担という趣旨は分かりますが、「受益者負担」と同時に、地方自治法では「住民福祉の増進」が謳われています。この関連性についてどう判断すべきか、伺います。	

第3回定例会一般質問要旨

NO. 2

順位	質問議員名	発言要旨	答弁を 求める者
3	長浜 謙太郎	行財政改革下における予算編成と財源確保について	町 長
		選ばれる地方自治体として生き残っていくためには、従来の予算編成や財源確保の延長線上では持続可能性が担保出来ない段階になってきている。 永続的な経常経費の構造的硬直化、職員の負担軽減と主体性向上、制度改正の影響を受けやすいふるさと納税との向き合い方。 これらを鑑みた上で、積み上げ方式の予算編成ではなく、枠配分方式の採用と財源確保としての積極的なガバメントクラウドファンディングの実施について、町長の見解を伺う。	
4	酒井 益幸	住宅施策の推進について	町 長
		住まい探しにおいて、居住したいと考えても公営住宅や民間賃貸住宅に空きが少なく、物件が見つからない実態が見受けられる。 物価上昇によるコスト高が進行し、民間事業者に対して賃貸住宅建築に係る助成制度を実施しているが、近年における賃貸住宅の新築着工件数は相当少ないと考える。住宅施策について3点伺う。 ①当町の世帯数は、近年ほぼ横ばいで推移し、住宅ストックが足りていない現状を考えると、住まいの確保は難しい状況にある。重要な問題と考えるが、当町における住宅政策についての課題など、現状認識を伺う。 ②公営住宅は国の補助金を活用し、建替ができるが、管理戸数が減る一方である。令和6年3月に作成された公営住宅等長寿命化計画では、汐見団地20戸の建替予定は令和8年からとなっているが、どのような状況か見解を伺う。 ③町有財産である町部局と教育部局の職員住宅について、現時点で空き家があるが、どのような理由なのか。余裕があるのであれば、住宅施策に利活用できると思うが。	
5	但野 裕之	森林公園のクマ出没対応について	町 長
		全国的なクマ出没が相次ぐ中、当町森林公園でも出没が相次ぎ、公園の閉鎖が余儀無くされている。 町民の利用ばかりか、町外からのキャンプ場利用者にも影響を及ぼしている。 国は被害防止へ、自治体を強力に支援する「クマ被害対策パッケージ」を昨年11月に策定し、交付金の活用を求めている。 これらの交付金を活用して、国道側に緩衝帯を設け、強固な柵などを整備し、公園利用者の安全を確保すべきと考える。 次の2点について伺う。 ①町は、昨年9月からクマ対策に素早く対応してきた。これまでに国の交付金はあるのか。 ②公園閉鎖解除後も、町民から不安の声も聞かれる。安心して利用可能にするためにも、早急に対策を講じるべきでは。	

第3回定例会一般質問要旨

NO. 3

順位	質問議員名	発言要旨	答弁を 求める者
6	但野 裕之	レ・コード館開館30周年記念事業について	町 長 教育長
		レ・コード館は、来年6月に開館30周年を迎える。「レ・コードと音楽によるまちづくり」を核として、町民の社会教育・文化活動の場として、その役割を果たしてきた。一方、「レ・コードと音楽のまち」として町外に情報発信し、町のPRにも寄与してきた。レ・コード館は、社会教育施設と観光施設の両面を持っているが、現在、町は社会教育施設と位置付けをしている。 これまで同館の周年事業は、故・酒井名誉館長在籍時、同氏の協力を得て、大きな事業を展開し好評を博した。25周年は、同館開催事業に記念事業の冠を付ける協賛に止めている。 30周年は、町内外から多くの期待が寄せられている。30周年を迎えるにあたり、町長の目指すべき「レ・コードと音楽によるまちづくり」と周年事業のあり方。また、レ・コード館館長である教育長には、社会教育施設としての周年事業のあり方について伺う。	